

## ～「感染しやすい」デルタ株への対応～

現在、道内においては、検査数の85%以上が感染しやすいデルタ株に置き換わり、感染の拡大が進んでいます（8月13日現在）。夏休み中の学校関係者の感染者数も、これまでの夏休みや冬休みと比べると多い状況です。

夏休みが明け、学校の教育活動が再開されますが、学校での感染拡大の防止等に向け、保護者の皆さまにも次の点について改めてご協力いただきますようお願いします。



## お子様・ご家族に「症状がある」場合は、「自宅で休養」してください

### 【これまでの校内感染事例にみられた特徴(例)】

微熱があったが、薬を飲んで登校し続け、後に感染が判明し、校内で感染が拡大

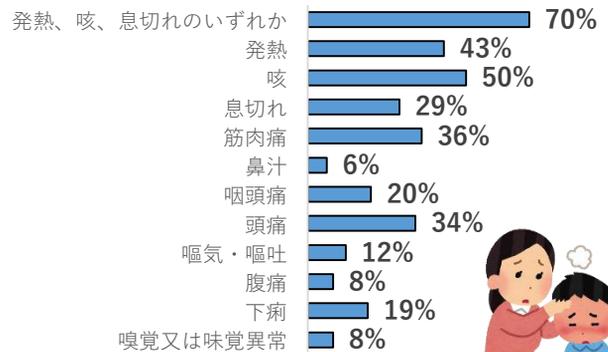


同居する家族にのどの痛みがあったが、症状が軽かったため、本人は登校し、後日家族全員の感染が判明し、校内で感染が拡大



発熱の有無に関わらず、お子様・ご家族に症状がみられる場合は、症状がなくなるまで、自宅で休養していただくようお願いします。

### COVID-19の症状の頻度



「新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き（第5.2版）」

## PCR検査または抗原検査を受けることになったら、学校に連絡してください

学校での感染拡大を防止するためには、感染が判明した後の迅速な対応（臨時休業等）が必要になります。そのため、PCR検査または抗原検査を受けることになった場合、可能な限り速やかに学校に連絡していただくようお願いします。



## SNSによる誹謗中傷等がなくなるよう、ご協力をお願いします

新型コロナウイルスの感染者が出た学校や地域では、感染者やその家族への偏見・差別や、SNSによる誹謗中傷等が生じてしまうことがあります。

非難や差別の根っこには、見えない・わからないウイルスへの「不安・恐怖」や「防衛本能」があると言われています。誰でも感染者になる可能性がありますし、誰の中にも不安や防衛本能はあります。

自分たちにできることは何か、ご家庭でもお子様とお話していただきますようお願いします。



「ウイルスが  
広まったのは、  
あいつのせいだ！」



「ウイルスの次にやってくるもの」（日本赤十字社）

# 新型コロナワクチン

※ 本資料の情報は、令和3年（2021年）  
8月13日現在のものです。内容は随時  
更新されますので、ご注意ください。

## 新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチンには、重症化を防いだり、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐ効果があります。接種を受けていただくことで、重症者や死亡者が減ることが期待されます。

一方で、接種後の副反応として、接種部位の痛み、頭痛・倦怠感、筋肉痛などが報告されているほか、ごくまれに、接種後のアナフィラキシー（急性のアレルギー）が報告されています。



## 接種を受ける際の同意について

新型コロナワクチンの接種は、国民の皆さまに受けていただくようお願いしていますが、接種を受けることは強制ではありません。しっかり情報提供を行ったうえで、接種を受ける方の同意がある場合に限り接種が行われます。

予防接種を受ける方には、予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただいています。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないようお願いいたします。

## これは本当ですか？

Q 新型コロナワクチンの接種が原因でたくさんの方が亡くなっているというのは本当ですか。

A 日本において、新型コロナワクチンの接種が原因で亡くなった方がいるという事実は確認されていません。

Q 新型コロナワクチンの臨床試験（治験）が終わっていないというのは本当ですか。

A 新型コロナワクチンは、臨床試験（第Ⅲ相試験）で、有効性と安全性に関して厳格な評価が行われた後に承認されています。その上で、効果の持続性等を確認するために臨床試験が継続されています。

Q 新型コロナワクチンの動物実験で全ての動物が死んだというのは本当ですか。

A 新型コロナワクチンの実験動物がワクチンの毒性によって異常な死を遂げたという事実は確認されていません。

【出典】「新型コロナワクチンについて」（厚生労働省HP）

参考となる資料

「新型コロナワクチンについて」（厚生労働省）



「『12歳以上のお子様と保護者の方へ』新型コロナワクチンの接種についてのお知らせ」（厚生労働省）



【コミティ（ファイザー社）】

【COVID-19 ワクチンモナ（武田薬品）】